



経済日誌

2024年10月15日～2024年11月14日の主な出来事



10.16 韓国航空会社 熊本ーソウル線再開

韓国の大手航空会社の大韓航空は15日、熊本空港とソウル（仁川 [インチョン]）を結ぶ定期便を11月24日に就航すると発表した。同社の熊本ーソウル線は1997年以来、約27年ぶりの再開となる。なお、同国のアジアナ航空も11月7日、熊本地震後に撤退していた熊本空港とソウルを結ぶ定期便を約8年半ぶりに再開している。

10.18 菊陽町の第2工場着工 「2025年1～3月」と発表 TSMC

半導体受託生産世界最大手の台湾積体回路製造（TSMC）は17日に開いた決算説明会で、菊陽町で造成工事を進めている第2工場の建設を2025年第1四半期（1～3月期）に始めると発表した。TSMCはこれまで、第2工場の建設開始時期を「24年後半」としていた。

10.22 県内中小事業者「賃上げ」55%

熊本県商工会連合会は21日、54円増の952円となった2024年度の県最低賃金（最賃）について、会員事業者に対応を尋ねた調査の結果を発表した。最賃改定を機に、事業所内の賃金を引き上げる予定と答えたのは半数以上の55%となり、前年度に比べて5ポイント上昇した。県最賃の引き上げ幅は過去最大で、中小事業者の経営に影響を与えているとみている。

10.26 台湾・玉山銀行、熊本市に拠点

台湾の玉山銀行は、熊本市西区に熊本出張所を開設した。日本での拠点は2017年に開設した。同社の進出は、菊陽町で2024年度の単身向け賃貸マンションの平均家賃は、菊陽町と大津町で2021年に比べて20～30%超上昇し、家族向けとともに熊本市を上回った。合志市の賃貸マンションやアパートでも上昇傾向がみられた。

10.31 肥後銀行の「くまモン！ Pay」 2025年5月末から

肥後銀行は、スマートフォン（スマホ）で公共交通機関の運賃支払いや買い物時の決済ができるアプリ「くまモン！ Pay」のサービスを2025年5月末に開始すると発表した。熊本県内の路線バスや市電での使用が廃止される、Suica（スイカ）などの全国交通系ICカードに代わる決済手段の一つとなる。

10.31 熊本市電 20円値上げ200円に

熊本市交通局は、2025年6月に市電の均一運賃を20円値上げして200円とする方針を固めた。運賃改定は170円から現行の180円に引き上げた23年6月以来。小学生以下の小児運賃も90円から100円に引き上げる方針。運賃の値上げは、乗務員の処遇改善や物価高騰に対応して安定した経営基盤の確立を図る目的としている。

11.2 冬期湛水 始まる

大津町や菊陽町など白川中流域とその周辺台地で地下に水を蓄える冬期の湛水「たんすい」事業が1日、始まった。稲刈りが終わった協力農家の水田や転作田などに、水を張った風景が広がった。湛水事業は熊本市と近郊の地下水を守ろうと、推進組織「水循環型営農推進協議会」が2月まで白川中流域で、「くまもと地下水財団」が3月まで周辺台地で実施する。

11.4 大津・菊陽の平均家賃 熊本市超え

不動産情報サービス大手のアットホーム（東京）は、台湾積体回路製造（TSMC）の進出で地価の上昇が続いた。2024年の単身向け賃貸マンションの平均家賃は、菊陽町と大津町で2021年に比べて20～30%超上昇し、家族向けとともに熊本市を上回った。合志市の賃貸マンションやアパートでも上昇傾向がみられた。

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)